

マーケットの動き（2026年3月2日～3月6日）

先週の米国株式市場は、前週末比で下落しました。週初より、米国とイスラエルによるイラン攻撃を受けて原油価格が高騰し、世界景気の減速懸念から株価は下落しました。その後も、対立の長期化懸念に加え、6日に発表された2月の米雇用統計が弱い内容となり、下げ幅を拡大して週を終えました。欧州株式市場は、前週末比で下落しました。

投資環境見通し（2026年3月）

外国株式相場は、米国、欧州ともに高値警戒感が強まりやすい

企業業績については、依然として底堅い景気動向を背景に、AI（人工知能）関連銘柄を中心に増益基調が続くとみえています。米国株式相場は、業績全般に対する懸念は限定的で、年内の利下げ観測は支援材料とみられます。ただし、AIによるサービス代替懸念によるソフトウェア関連銘柄の株価調整がみられるなど高値警戒感が強まりやすく、また中東情勢の緊迫化も重しとみられる中、個別材料に神経質な展開が続くとみえています。欧州株式相場は、域内諸国の財政拡張政策が支援材料とみられますが、堅調な相場展開が続く中、米国株式相場と同様に高値警戒感が強まりやすく、個別材料に神経質な展開が続くとみえています。

	3月6日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
S&P500種株価指数	6,740.02	▲2.02%	▲2.77%	3.99%	17.45%
NYダウ	47,501.55	▲3.01%	▲5.22%	4.63%	11.56%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202603_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客様の投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客様自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

米国株価指数の推移



主要国株価指数の推移



※2025年2月28日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成